

2016年5月30日

くろつち便り

内容：くろつち会総会／新会長あいさつ／交流会
市民学会／地震の報道／支部大掃除／脱原発
投稿写真(偶然と必然)／熊本地震救援のお礼

くろつち会総会

2016年5月8日 千成本店

報告 内 俊 朗

60余名参加のもと、くろつち総会が開かれました。野間会長の力強いあいさつで始まり、次々に連帯者のあいさつが続きました。

報道されない政治の舞台裏のこと、オスプレイが熊本地震の救援にきた不安、原発のこと、苦悩する教育現場、発言のない職員会議……もっともっと聞きたいでしたが、時間オーバーしてしまいました。

次にビッグニュース

何と今年は、8名の新加入があり、その内3名の総会参加があり、元気なあいさつをもらいました。「タノムゾ、これからのくろつち会を」と願いました。

議長に日高南海雄さんを選出して議事が進められ、1年間の活動、2016年度運動方針・行事計画、予算案が提案通り承認されました。意見も多数出ました。

運動方針は、護憲を貫く活動、戦争法を発

動させない闘い、反原発・脱原発の闘い、そして最も身近な自らの生活を守る



闘いです。実に日本の15.8%が貧困家庭と言われていています。また平均年齢77才を超えたくろつち会の今後の活動をどう進めるかも課題となりました。

新会長に野口幸司郎さん、宜しく申し上げます。

2年間、会長としてがんばってくださった野間典文さん、お疲れさまでした。ありがとう。今度は福祉部長として宜しく申し上げます。

(反省)教職員共済からの説明で、火災保険から地震保険加入への変更の勧めがあったりして、予定を40分もオーバーしてしまいました。「あいさつが長かった。疲れた。」の声があり、反省しています。来年の課題です。検討しましょう。

新会長挨拶



野口幸司郎

私は退職後のシュミレーションをいろいろ考えていました。自由な時間に好きなことに熱中して…等と。しかしこの十数年の実感、現職時代より自由な時間がたくさんあったはずなのに追いまわられている感じがしています。そんな中で今回係を引き受けてしまいました。色々にご迷惑をおかけすると

と思いますがよろしく願いいたします。

これまでくろつち会の活動は、役員会の度に十分議論してより良い方向を出してきました。これからも様々な行事や取り組みを通して、一人ひとりが会員間の繋がりを実感でき、また一人ひとりを孤立させないくろつち会にしていきたいものです。加えて、戦争法や原発再稼働・格差等々私たちをとりまく政治的な課題も山積しています。これらの諸課題からも目をそむけるわけにはいきません。

とはいえ私たちは確実に年を重ね身体的にも精神的にも活動できにくい要因が増えています。それぞれの会員自身の置かれた状況に配慮しながら、一人ひとりが考えられる可能なアクションをお願いすることもありそうです。ご協力をよろしくお願いいたします。

今年度8名の新加入者を迎えました。ベテランの経験と新加入者の息吹を混ぜ合わせながら、まとまりがあり参加して楽しいくろつち会にしていきたいでしょう。

交流会



乾杯！
上蘭副会長の音頭で
一気に盛り上がりました。



お久しぶり
会場のあちこちで、
話はずんでいました。

新くろつち会員のみなさん
タノムゾ！これからのくろつち会を。



平和の願い～♪
日高南海雄さんの音頭で、日教組組合歌
を元気よく歌いました。
まあるくなって、手をつないで



ん？何の勘定？
南海雄さん、何を数え
ているの？

がんばろう！
新会員の城山さんの音頭で、
決意を新たにしました。



上の箱、ちょっと遊び心ですね。こんな遊び心は楽しくなります。箱には「僕の後輩、野間がくろつち旅行に行く様にカンパをお願いします 佐多の先輩 日高南海雄」と書かれていて、会場を回している間に何と5838円集まりました。野間前会長は不服でしょうが、これは熊本地震へのカンパとして送られます。

ハンセン病 市民学会

5月14日、15日、多くのくろつち会会員や雄志の方々の協力の下、ハンセン病市民学会が開催されました。



全国各地から4~500人が集まり、鹿屋での2日間の学習が始まりました。

14日は、開会行事の後、シンポジウムがあり、全療協の苦難の闘いの歴史を学ぶことができました。

15日はA~Dの4つの分科会に分かれて討議がなされました。



熊本地震と報道

(文責 樋園)

熊本地震の本震が起こっ

たのは4月16日だったので、あれからもうひと月以上経っている。

地震の報道のあり方について、NHKに対して疑問の声が上がっている。今回に限ったことではないが、またか、という感じだ。

以下、ライブドアニュースを一部抜粋。

4月23日付の毎日新聞によれば、20日、NHK放送センターで開かれた震災対策本部会議で、籾井会長は「原発については、住民の不安をいたずらにかき立てないよう、公式発表をベースに伝えることを続けてほしい」と発言したという。つまり、被災現場に近い原発の報道に関し、(中略)、あくまで政府や行政の「発表」や「方針」だけを報じる、と指示したわけだ。

最初の地震が発生したのは14日の21時26分頃だが、その瞬間、NHKでは『ニュースウォッチ9』が放送中だった。番組では、まず緊急地震速報が画面に表示され、つづけて「熊本地方が震度7」ということが判明、それを伝えたのだが、なぜか画面に映し出された地図は鹿児島県の上から下がカットされた不自然なものだった。そのため、宮崎県南部あたりに表示されていた震度3という数字も半分が切れており、鹿児島県は震度さえ表示されなかった。(中略)

ちなみに、同時時間帯に地震報道に切り替えた日本テレビの場合、鹿児島県薩摩が震度4、

宮崎県南部平野部が震度3だと地図上に表示して伝えている。

(中略) 4月16日未明の「本震」発生直後も同じ不自然な地図を使用し、またしても鹿児島県の震度は地図上に表示されなかった。

(中略) 地図がトリミングで切られたそのすぐ下に、薩摩川内市が位置するということ。

(後略)(以上ライブドア4/26 傍線:樋園) とんでもない話である。原発の近くの住民はどうでもいい、切り捨てろ、とでも言うのか。NHKは、政府のスポークスマンに成り下がっている。

報道倫理で最も大切な「知る権利への奉仕」が吹っ飛んでいる。しかも意図的である。それから「客観性の確保」「人権の尊重」という柱も抜け落ちている。

最近の安倍の「リーマンショック前と似た状況」発言に異

論が続出、海外メディアでも批判的に取り扱っているのに、NHKはこの問題でも政府に追随した取り扱いである。



運命は偶然よりも必然である

---「侏儒の言葉」芥川龍之介

(文責 樋園)

「偶然と必然」の問題は、哲学、生物学、心理学、物理学等々、あらゆる分野で研究の対象になっているという。宇宙や我々を構成している最小単位・素粒子は、最新科学によると確率的にしか存在しないというのであるから、「偶然と必然」の問題があらゆる分野で組上に載るのは当然である。

例えば文芸で言うと「ごんぎつね」で、ごんが兵十に鉄



砲で撃たれたのは偶然なのか必然なのか、という問だが、これまた文芸理論的に説明するのはかなり難しい。

さて、掲載した写真は森轄隆さん提供のものである。ちょっとエロチックなこれらの人参、畑で穫れたものだということだが、はたして偶然の産物なのか、はたまた必然の産物なのか。ご本人は「たまたま（偶然）」と仰るのだけど、これらの形象と森さんという人となりとを重ね合わせてみると、どうも必然としか思えないところが面白い。

ジョゼフ・マーフィー博士によると眉唾的だが、人の潜在意識は活用次第で顕在化できるそう。これらの人参が、生産者の潜在意識の現れだとしたら、これらはもう立派な必然の産物になる。

哲学者三木清の言葉、「人生は何事も偶然であり必然である。」（「人生論ノート」希望について）



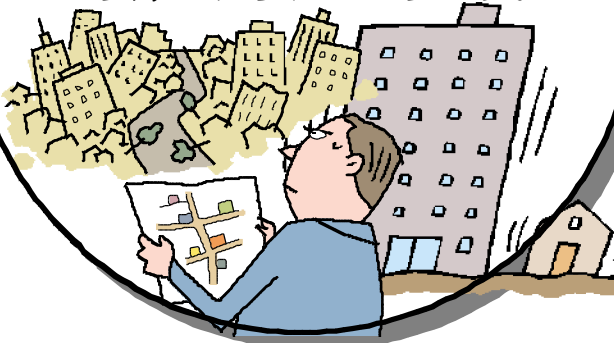
熊本地震 義援金カンパ

今回の熊本・大分での大災害に対し、くろつち会としてもカンパを募りました。これまでに、

71000円あまり

の義援金が集まりました。ありがとうございました。まだこれからという方もおられるそうなので、まだ増えると思います。

中には、二重・三重にカンパされたという方もおられたようです。



これからの予定

脱原発集会 ---- 6月3日（金）

17：30から1時間程度

（5月は寿のスシロー付近で、スタンディングアピールをする予定でしたが、雨天のため、中止になりました。）

支部大掃除 ---- 今のところ未定



毎年夏休みに入っすぐの土曜日に計画されるようです。そうだとすると、今年は7月23日でしょうか。

予定に入れておいてください。

参議院選挙 ---- 7月10日??

衆参ダブル??

いずれにしても安倍の改憲野望を打ち砕くために、大切な選挙になりそうです。